

競 技 注 意 事 項

本大会の競技は、2005年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに大会要項により行う。

1. ウォーミングアップ・練習について

競技場北側のサブグラウンド半面および競技場内の室内練習場を使用すること。投てき器具を用いた練習(円盤は除く)はサブグラウンドで行い、係の競技役員の指示に従うこと。ただし、朝の開始式開始15分前までは競技場内の練習を可能とする。

2. 招集について

ア. 選手の招集場所は、北ゲート(100mスタート地点外側)を出たところに設ける。

イ. 招集開始時刻はその競技の開始時刻を基準とし、下記のように定める。

トラック競技・・・30分前に開始し20分前に終了する。

フィールド競技・・・50分前に開始し40分前に終了する。

ウ. 招集の手順

競技者は招集開始時刻までに招集所に集合し、点呼を受ける。

その際、係員にナンバーカードとスパイクの確認を受けたのち、係員の誘導に従って入場する。

四種競技出場者は最初の種目のみ招集所でウの に従い競技者係の点呼を受ける。

以降は現地招集とする。完了時刻はトラック15分前・フィールド30分前とする。

3. 競技について

ア. 危険防止のため、各走者はフィニッシュ後レーンに沿って曲走路を走る。

イ. 本大会のトラック競技はすべて電気計時とする。したがってトラック競技出場者は右腰やや後方に、主催者が用意した腰ナンバーカード(縦12cm×横18cm)をつける。フィニッシュ後はその腰ナンバーカードを役員に必ず返却する。

ウ. トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順はプログラム記載の順とする。準決勝以降の組み合わせは、番組編成員により公正に抽選のうえ決定する。編成された組み合わせは招集場に掲示する。

エ. 準決勝あるいは決勝進出における+ は100分の1秒単位とする。同タイムが多くレーンが不足する場合は1000分の1秒まで読み取り進出者を決定する。

オ. ナンバーカード(縦20cm×横24cm)は太さ2cmの明瞭な文字で書きユニフォームの背と胸に縫い付けること。(走高跳・棒高跳は背または胸いずれか一方でよい。)

カ. 400m(4×100m、ハードルを含む)までのトラック種目において、7名(チーム)以下の出場予定者の場合は第2レーンより使用する。

キ. リレー種目について

同一チームの4名は同一のユニフォームを着用することが望ましい。

各走者は1カ所にかぎり粘着テープをマーカーとして使用できる。(テープの大きさは50mm×400mm以内)

各走者はバトンの受け渡しを終えた後は、他の競技者のじゃまにならぬようレーン内にとどまること。

リレーオーダー用紙は、第1日目の学校受付で所定の用紙を1チームにつき2部ずつ受け取り第1次コール1時間前までに競技者係に提出すること。決勝進出の場合も競技者係から改めてリレーオーダー用紙を受け取り提出すること。第2日目に行われるリレー種目のオーダー用紙の提出はできるかぎり第1日目終了までに提出されたい。

ク. 走高跳、棒高跳以外のフィールド種目については、競技運営上、下記の記録にとどかない者は測定しない。

(男子) 走幅跳 4m50 三段跳 10m00 砲丸投 8m00 円盤投 25m00

(女子) 走幅跳 3m70 砲丸投 7m00 円盤投 15m00

ケ. 『競技規則第162条(2)「位置について」の合図の後、ある競技者が音声その他の方法で他の競技者のじゃまをするような場合は不正スタートとみなされる』により、スターターの「位置について」の合図で「お願いします」等のかけ声はかけないこと。

コ. 次のラウンドへ進出できた競技者で、やむなく次のラウンド(準決勝・決勝)を棄権する場合は総務まで棄権届を提出すること。棄権届は総務から受け取る。

4. バーの上げ方

	種目	練習	試技における上げ方
男子	走高跳	1 4 0 cm	145 - 150 - 155 - 160 - 165 - 170 - 173 - 176 - 179 …
	四種走高跳	1 3 5 cm	140 - 145 - 150 - 155 - 160 - 165 - 170 - 173 - 176 …
	棒高跳	2 1 0 cm	220 - 240 - 260 - 280 - 300 - 310 - 320 - 330 - 340 …
女子	走高跳	1 2 0 cm	125 - 130 - 135 - 140 - 145 - 150 - 155 - 158 - 161 …
	四種走高跳	1 1 0 cm	115 - 120 - 125 - 130 - 135 - 140 - 145 - 150 - 153 …

第1位が同成績の場合の順位決定のためのバーの上げ下げは走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする。

5. 表彰・学校対抗および得点について

- ア. 決勝において第3位までに入賞した選手は、決勝結果の通告後すみやかに表彰席に集合のこと。（表彰には競技服装・運動靴で臨むこと。）
- イ. 学校対抗における団体表彰は男子総合・女子総合・男女総合とも第6位まで行う。
- ウ. 学校対抗得点は各種目1位8点、2位7点、・・・、8位1点とする。

6. 救急医療について

出場選手の競技中の疾病および傷害については、応急の処置は行うがそれ以後の責任は一切負わない。

7. 開始式について

開始式にはフィールド芝生保護のため、各校5名程度が出席し、各ブロック別に整列すること。

8. その他

- ア. 応援などを含め競技のマナーをよく守り中学生競技者として恥ずかしくない行動をとること。競技運営に支障ある行為をしたときは、審判長あるいは場内指令は競技規則第125・133条に基づき当該者に対する警告あるいは競技からの除外を命ずることができる。さらに当該者のチームに以降の出場を辞退してもらうこともありうる。また、施設・用器具の使用については大切に取り扱い、清潔美化に努めること。特に更衣室・便所などの使用は常に清潔保持に留意すること。
- イ. 競技者・競技役員・補助員・大会役員・報道関係者以外の者は競技場内には入らないこと。とくに選手の付き添いや応援または記録を測るためなどの理由で入らないこと。また、競技者はトランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で使用しないこと。（第144条により選手への助力とみなされ失格となる場合がある。）
- ウ. 競技場での選手の移動はスタンド外通路を利用すること。
とくに本部前の通行およびメインスタンドでのスパイクシューズ着用は禁止する。
- エ. 助走マークやリレーマークなどで使用したテープは、確実にをはがして持ち帰ること。
- オ. 自校応援席の清潔保持に努めること。ゴミは各校で確実に持ち帰ること。
- カ. メインスタンド中段より上部のみテント類の設置を許可する。また、観覧席最前列には立たないこと。
- キ. 芝生スタンドで、グラウンドシートを地面に敷くことは禁止する。
- ク. 芝生にテント等をたてる場合、ひもをバックフェンスにくくるとは禁止する。バックフェンスを使つての横断幕の設置も禁止する。